

参加者の有無を確認する公募手続に係る参加意思確認書の提出を求める公示

令和2年12月18日

支出負担行為担当官

気象研究所長 土井 恵治

1 当該招請の主旨

本業務は、既に運用しているGNSS自動解析システムについて、計算機の更新に伴うソフトウェア及びデータの移植を行うものであるが、本業務の実施を希望する者の有無を確認する目的で、参加意思確認書の提出を招請する公募を実施するものである。

応募の結果、4. の応募要件を満たすと認められる者がいない場合にあつては、本業務に必要な技術を有する法人（以下、「特定公益法人等」という）との契約手続きに移行する。

なお、4. の応募要件を満たすと認められる者がいる場合にあつては、一般競争入札方式による公告を行う予定である。

2 業務概要

- (1) 業務名 GNSS自動解析システム関連ソフトウェア及びデータの移植
- (2) 業務内容 火山研究部所有のGNSS自動解析システム装置について関連ソフトウェア及びデータの移植を行う。
- (3) 履行期限 令和3年3月31日

3 業務目的

研究課題「火山活動の監視・予測に関する研究」のもと、伊豆大島等において得られたGNSS観測データを随時計算処理するため、GNSS自動解析システムを構築している。本件は、GNSS自動解析システムの計算機更新にあたり、関連ソフトウェア及びデータの移植作業を行うことを目的とする。

4 応募要件

(1) 基本的要件

- ① 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しないものであること。
- ② 令和元・2・3年度国土交通省（全省庁統一資格）「役務の提供等」において関東・甲信越地域の競争参加資格を有するものであること。
- ③ 気象研究所から指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- ④ 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずる者として、国土交通省公共事業等から排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

(2) 技術力に関する要件

当研究部で使用するGNSS自動解析システムの機能・性能・構成・操作に関して最新の知識を有するとともに、GNSS自動解析システムで動作している機能の安定性を阻害せず、最大限に発揮させる技術力を有すること。

(3) 設備・システムに関する要件

当所に設置してあるGNSS自動解析システムの性能・機能仕様を理解し、当該業務を実施するための資料に示す項目について、個々の要件を満足するような移植を行う設備を有すること。

(4) 中立性・公平性に関する要件

GNSS自動解析システムが、火山活動の監視・予測に関する研究に使用されることに鑑み、本業務の公益性について十分理解し、公平かつ中立的な立場で本業務を実施できる体制を整えていること。

(5) 守秘性に関する要件

① 当研究所から提供された資料は、監督職員の許可を受けた場合又は公開資料であることが明らかである場合を除き、本業務以外の目的で使用してはならない。また、貸与された資料は本業務終了後直ちに返却しなければならない。

② 本業務の実施によって知り得た研究上又は技術上の秘密や情報を利用又は漏洩してはならない。

(6) 業務執行体制に関する要件

① 本業務作業工程表や検査成績書等の必要書類の提出に速やかに応じられる体制を有すること。

② 本業務の執行にあたって、既存のシステム動作を阻害せず、使用目的に沿って正常に動作するよう設定・調整できる体制を有すること。

(7) 業務実績に関する要件

GNSS自動解析システム構築の実績を有すること。

(8) その他必要と認める要件

本ソフトウェアに使用されている著作権のあるプログラムにおいて、これを改造並びに改変する権利を有している、若しくは許可を得られること。

5 手続き等

(1) 担当部局及び問い合わせ先

① 公示及び説明書について

〒 305-0052

茨城県つくば市長峰 1-1

気象研究所総務部会計課用度係長 綿井 正典

電話 029-853-8565 FAX 029-853-8571

② 技術力等に関する要件について

〒 305-0052

茨城県つくば市長峰1-1

気象研究所火山研究部第一研究室 島村 哲也

電話 029-852-9246 F A X 029-851-3730

(2) 説明書の交付期間、場所及び方法

令和2年12月18日から令和3年1月15日まで (1)に同じ。

(3) 参加意思確認書の提出期限、場所及び方法

令和3年1月18日 16:00まで (1)に同じ。

応募者は要件を満たす資料を作成し(書式は任意、但しA4版とする)、別紙「参加意思確認書」に添付のうえ、持参、郵送(書留郵便に限る)又は電送(事前に(1)へ連絡を入れること)すること。

なお、上記期限までに到着しなかった場合は、当該参加意思確認書は無効とする。

(4) 応募要件を満たした場合

参加意思確認書の審査において応募要件を満たした者は、書面にて通知を行うとともに、一般競争入札に移行するものとする。

(5) 応募要件を満たさないとされた理由の説明

① 参加意思確認書の審査において応募要件を満たさないと審査結果の通知を受けた者は、通知をした日の翌日から起算して7日(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)第1条に規定する行政機関の休日を除く。)以内に書面により、契約担当官等に対して応募要件を満たさないとされた理由についての説明を求めることができる。

② 契約担当官等は、応募要件を満たさないとされた理由についての説明を求められたときは、説明を求めることができる最終日の翌日から起算して10日以内に書面により回答するものとする。

(6) その他

① 参加意思確認書の作成及び提出に係る費用は提出者の負担とする。

② 提出された参加意思確認書は、参加意思確認書の審査以外に提出者に無断で使用しない。

③ 一旦受理した参加意思確認書は返却しない。

④ 一旦受理した参加意思確認書の差し替え及び再提出は認めない。

⑤ 参加意思確認書に虚偽の記載をした場合は、当該参加意思確認書は無効とするとともに、虚偽の記載をした者に対して指名停止を行うことがある。

6 その他

① 手続きにおいて使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とする。

② 関連情報を入手するための照会窓口は、5(1)に同じ

③ 一般競争方式による公示を行うこととなった場合、その旨後日通知する。

④ 4(1)②に掲げる一般競争(指名競争)参加資格を有していない場合も5(3)により参加意思確認書を提出することができるが、本件が一般競争入札による公告を行うこととなった場合で当該入札の競争参加資格確認申請を行う場合には、当該資格を有し

ていなければならない。

⑤ 詳細は説明書による。